

2021年8月11日

不二製油グループ本社株式会社

2021年8月4日（水）にお問い合わせいただきました件につき、下記の通り回答申し上げます。

## 記

RANの苦情内容については、東京2020組織委員会の通報情報に記載されておらず、グリーンバンスが受理されたかどうか確認できない状況のため、当社としてコメント致しかねますが、不二製油グループでは、持続可能なサプライチェーンの構築を目指して、2016年に「責任あるパーム油調達方針」を策定し、本方針に則った活動を推進しております。本方針では「森林破壊ゼロ・泥炭地開発ゼロ・搾取ゼロ（No Deforestation, No Peat land development, No Exploitation：NDPE）」に向けたコミットメントを表明しており、その達成に向け、ステークホルダーと協働し、方針の実現に向けたKPIと行動計画を策定の上、活動を実施しています。

### 具体的な取り組み

- ・ サプライチェーンのトレーサビリティの確保  
（2020年度実績：搾油工場までのトレーサビリティ（TTM）100%、農園までのトレーサビリティ（TTP）71%）
- ・ グローバルサステナブル調達委員会の設置（2020年）
- ・ グループ包括方針「サプライヤー行動規範」公表（2021年）
- ・ サプライチェーン上の環境や人権問題を改善する仕組み「グリーンバンスメカニズム」の導入  
（2018年より開始、2020年に対象範囲拡大ならびに対処強化等手順書の一部改訂）
- ・ 衛星写真モニタリングによる森林破壊状況の検証（2020年開始、調査結果はグリーンバンスリストへ反映）
- ・ インドネシア・アチェ州にてAPTランドスケープイニシアチブへ参画  
（2018年より参画。地元政府・NGO・企業・農園などのマルチステークホルダーが連携して森林破壊、搾取、農産地の保護、貧困等の問題への取組）
- ・ 労働環境改善プログラムの導入（サプライヤーの労働慣行改善と能力開発）

これらの活動進捗は、半期毎に発行の「責任あるパーム油調達方針 進捗レポート（和・英）」や、年に一度発行する「サステナビリティレポート（和・英・中）」を通じて公開しており、透明性と説明責任を一層果たすべく、情報開示の充実にこれからも取り組んで参ります。また、今後もステークホルダーの協力を得ながら、グループを挙げて持続可能なパーム油サプライチェーンの構築に取り組んで参ります。

以上